

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年11月11日

上場会社名 株式会社エーアイ 上場取引所 東
 コード番号 4388 URL <https://www.ai-j.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 吉田 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理グループ統括 (氏名) 前田 忠臣 TEL 03 (6801) 8402
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	311	5.6	63	△8.6	63	11.1	49	14.4
2019年3月期第2四半期	294	—	69	—	57	—	42	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	9.68	9.51
2019年3月期第2四半期	8.97	8.55

(注) 1. 2018年3月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2019年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 当社は、2018年6月27日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2019年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2019年3月期第2四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,186	1,122	94.6
2019年3月期	1,211	1,103	91.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 1,122百万円 2019年3月期 1,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2019年3月期の期末配当金8円00銭には、記念配当3円00銭が含まれております。

配当予想の修正については、本日(2019年11月11日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	800	8.5	220	4.2	220	8.8	160	6.5	32.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	5,123,000株	2019年3月期	5,036,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	28株	2019年3月期	28株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	5,074,803株	2019年3月期2Q	4,783,774株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業の働き方改革による雇用・所得環境の改善や消費税増税前の駆け込み需要等により、企業収益、個人消費が景気を下支えしました。一方、世界経済は、米中貿易摩擦を背景に中国の経済成長の減速や日韓関係の悪化等により外需の減速が強まるなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社が属する音声合成市場におきましては、電話自動応答システム、カーナビ、防災行政無線、スマートフォン音声対話などの利用用途から、AI(人工知能)の品質向上によるPepperをはじめとしたコミュニケーションロボット、コールセンターのオペレータ業務の自動化、車載器への対話システムなどの対話型利用用途へと変化しております。また、東京オリンピック、観光客の増加に伴う外国人への情報提供手段としての利用用途も見込まれており、堅調に推移しております。

音声合成市場には、多くのサービス事業、アプリケーションが投入され、競争が激化しており、より品質の高い技術を投入するために研究開発費、製品開発費が増加する傾向にありますが、当社では今後更なる成長機会と捉えて、「音声技術の応用サービス化を通して、音声技術の新しい文化を創出し、生活文化の向上に貢献すること」に引き続き注力してまいります。

このような事業環境の中で、当第2四半期累計期間の音声合成事業は、法人向けサービスが順調に推移した結果、売上高311,333千円(前年同期比5.6%増)、営業利益63,426千円(同8.6%減)、経常利益63,388千円(同11.1%増)、四半期純利益49,116千円(同14.4%増)となりました。

なお、当社は音声合成事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、特性に応じた3つの区分につきましては、法人向け製品販売155,642千円(前年同期比5.5%増)、法人向けサービス収入111,981千円(同18.6%増)、コンシューマー向け製品販売43,710千円(同17.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の資産合計は前事業年度末と比較して25,574千円減少し、1,186,403千円となりました。これは主に、現金及び預金が13,887千円増加したものの、売掛金が43,887千円減少したことによるものです。

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して44,343千円減少し、64,051千円となりました。これは主に、賞与引当金が3,640千円増加したものの、未払法人税等が17,936千円、流動負債「その他」に含まれる未払金が13,514千円、預り金が8,614千円、未払費用が6,829千円減少したことによるものです。

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して18,769千円増加し、1,122,352千円となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行により資本金が4,970千円、資本剰余金が4,970千円増加、四半期純利益の計上により利益剰余金が49,116千円増加、配当金の支払いにより利益剰余金が40,287千円減少したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、983,997千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、50,705千円となりました。これは主に、未払金の減少額13,514千円、法人税等の支払額29,215千円等があった一方、売上債権の減少額43,887千円、税引前四半期純利益63,388千円の計上があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動により支出した資金は、6,366千円となりました。これは主に建物附属設備等の有形固定資産の取得による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動により支出した資金は、30,452千円となりました。これは主に配当金の支払額40,000千円によるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想については、2019年5月14日公表の「2019年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	970,110	983,997
売掛金	130,749	86,862
仕掛品	1,118	36
原材料及び貯蔵品	647	1,532
その他	12,830	16,821
流動資産合計	1,115,456	1,089,251
固定資産		
有形固定資産	13,040	16,562
無形固定資産		
ソフトウェア	15,885	12,508
無形固定資産合計	15,885	12,508
投資その他の資産	67,595	68,080
固定資産合計	96,521	97,152
資産合計	1,211,977	1,186,403
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,717	2,550
リース債務	790	806
未払法人税等	35,969	18,033
前受収益	10,390	10,572
賞与引当金	-	3,640
その他	55,027	26,355
流動負債合計	105,894	61,959
固定負債		
リース債務	2,499	2,092
固定負債合計	2,499	2,092
負債合計	108,394	64,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	143,601	148,571
資本剰余金	198,255	203,225
利益剰余金	761,809	770,637
自己株式	△82	△82
株主資本合計	1,103,583	1,122,352
純資産合計	1,103,583	1,122,352
負債純資産合計	1,211,977	1,186,403

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	294,837	311,333
売上原価	59,605	62,718
売上総利益	235,231	248,615
販売費及び一般管理費	165,841	185,188
営業利益	69,389	63,426
営業外収益		
受取利息及び配当金	4	5
講演料収入	101	20
営業外収益合計	106	25
営業外費用		
支払利息	79	64
為替差損	38	-
株式交付費	2,922	-
株式公開費用	9,385	-
営業外費用合計	12,425	64
経常利益	57,070	63,388
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税引前四半期純利益	57,070	63,388
法人税、住民税及び事業税	13,541	15,129
法人税等調整額	594	△857
法人税等合計	14,135	14,271
四半期純利益	42,934	49,116

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	57,070	63,388
減価償却費	7,353	6,240
受取利息及び受取配当金	△4	△5
支払利息	79	64
固定資産除却損	-	0
株式交付費	2,922	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,001	3,640
売上債権の増減額(△は増加)	21,455	43,887
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,429	196
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,352	△1,166
未払金の増減額(△は減少)	△16,031	△13,514
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	3,629	△3,848
前受収益の増減額(△は減少)	2,546	181
長期前受収益の増減額(△は減少)	△622	-
その他	△4,722	△19,083
小計	64,896	79,979
利息及び配当金の受取額	4	5
利息の支払額	△79	△64
法人税等の支払額	△19,583	△29,215
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,237	50,705
投資活動によるキャッシュ・フロー		
出資金の回収による収入	-	20
有形固定資産の取得による支出	△182	△5,686
無形固定資産の取得による支出	△800	△699
投資活動によるキャッシュ・フロー	△982	△6,366
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	185,677	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	9,940
自己株式の処分による収入	61,640	-
配当金の支払額	-	△40,000
自己株式の取得による支出	△83	-
リース債務の返済による支出	△375	△391
財務活動によるキャッシュ・フロー	246,858	△30,452
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	291,113	13,886
現金及び現金同等物の期首残高	636,037	970,110
現金及び現金同等物の四半期末残高	927,151	983,997

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は音声合成事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。